

科学研究や保全への活用

世界の鳥類の個体数/分布域マップを公開
eBirdサイエンスチームでは、eBirdに投稿された野鳥観察データから、毎年、鳥類の推定個体数のマップと分布域マップを発表しています。個体数マップのアニメーションでは、種ごとに、いつ、どこで、どのくらいの数が見られるかが一週間単位で予測されています。

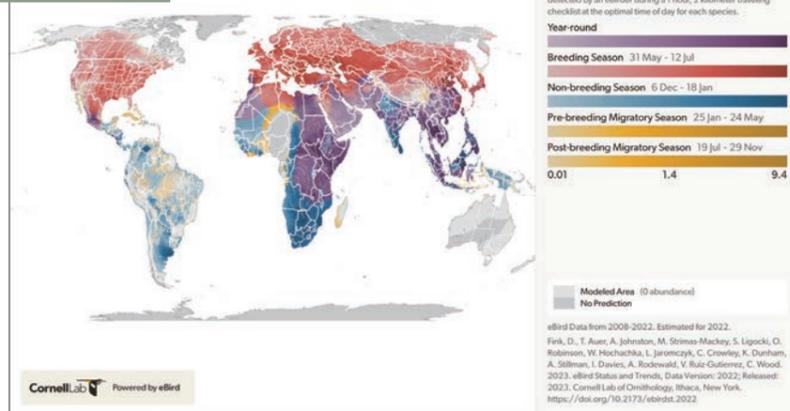
これらのマップは「eBird ステータス&トレンド」から、誰でも自由にダウンロードして見ることができます。

eBird ステータス&トレンド

<https://science.ebird.org/ja/status-and-trends>



© Daniel Jauvin



eBird/ Merlin

ご利用の際の よくある質問

Q eBirdは、誰でも利用できますか？

A 誰でも利用できますが、コーネル大学鳥類学研究室のアカウントへの登録が必要です。アプリ「Merlin」も同じアカウントで利用いただけます。13歳未満は個人のアカウントを作成できないので、保護者や先生などと一緒にご利用ください。

Q eBirdで、自分の名前が公開されないようにできますか？

A 「マイeBird」から「設定」をクリックし、「公開する名前の表記」で「Anonymous eBirder」を選択してください。

Q 個体数がわからなかったときはどのように入力すればよいですか？

A 個体数の推定ができる場合は、推定を入れてください(例:10、100、1000単位で入れる)。2羽か3羽かわからない、というときは「最低でも2羽見た」として、少ない方を入れてください。全くわからないときは、ウェブサイトやiPhoneで投稿するときは「X(エックス)」と入れてください。アンドロイドから投稿するときは「観察された数」は入れずに「出現」をチェックしてください。

Q Merlinの音声識別は利用できますか？

A 音声識別は現在、北米・ヨーロッパでは利用できますが、日本では識別可能な種に限られているため、うまく識別できないことがあります。

詳しくはこちら <https://ebird.org/region/JP/partners/faq>



これを読めばわかる！

eBird & Merlinの使い方

発行：2025年3月

(公財) 日本野鳥の会

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル

電話：03-5436-2633 FAX：03-5436-2635

デザイン：安田真奈己

*eBirdウェブサイト及びアプリの更新や変更等に応じて、本書の内容も更新されます。

eBird Japanは、以下の法人のご支援をいただき、運営しています。

メインスポンサー **SUNTORY**

協賛



Seeing beyond

◆eBird Japanへのお問い合わせ

eBird Japanについてのご質問は、下記までメールでお問い合わせください。
(公財)日本野鳥の会 自然保護室
E-mail: ebirdjapan@wbsj.org

これを読めばわかる！

eBird & Merlinの使い方

世界最大の野鳥観察データベースeBird、eBirdと連動して、野鳥の識別をサポートするアプリMerlinの使い方をわかりやすく解説。はじめての方はぜひお読みください。

eBirdとは

eBirdは、コーネル大学鳥類学研究室 (Cornell Lab of Ornithology) が運営する、世界最大の野鳥観察データベースであり、市民科学プロジェクトです。eBirdには、世界中のバードウォッチャーから10億件を超える野鳥観察情報が寄せられ、その情報は鳥類の研究や保護活動に役立っています。

eBirdを使うことで、自分が見た鳥をオンラインで記録できるほか、見たい鳥が観察された場所や、人気のバードウォッチングスポットなどを検索することができます。

Merlinとは

アプリ「Merlin」は、eBirdに蓄積された野鳥観察情報と連動して、AIが識別をサポートする無料アプリです。見つけた鳥の名前がわからない時、場所、日時、その鳥の大きさ、色、行動を入力すると、最も一致する鳥を教えてください。写真があれば、写真で識別することもできます。

eBird、Merlinともに
無料でご利用いただけます



1 ウェブサイトにアクセス



eBirdウェブサイトへアクセス。
<https://ebird.org/home>

次のページへ >>>

アカウントの作成方法

「eBird」およびアプリ「Merlin」を使うには、コーネル大学鳥類学研究室のアカウントが必要です。アカウントを持っていない方は、アカウントを作りましょう。

- ①氏名、ユーザーネーム、パスワード、メールアドレス*を入力。
*このアドレスに確認メールが届くので、スマートフォンでも受信できるメールアドレスにしましょう。
- ②入力したアドレス宛に、Team eBirdからメールが届くので、「アカウントを有効にする」をタップ。
- ③住所を入力するか、「この手順をスキップする」をタップして次へ進む。
- ④eBirdの設定画面で、種名の表示で「日本語」を選択。
- ⑤同じく設定画面で、公開する名前を匿名にしたい方は「Anonymous eBirder」にチェック。

これでアカウントの作成完了です。改めてeBirdウェブサイトへアクセスして、「メニュー」から「サインイン」をタップし、ユーザーネーム、パスワードを入力しましょう。
*パソコン上でも、同じ手順でアカウントを作成できます。詳しくはこちらをご覧ください。
https://ebird.org/region/JP/post/creating_account

ウェブサイト版とスマホアプリの使い分け

eBirdには、ウェブサイト版と、スマホアプリ「eBirdモバイル」があります。野鳥観察記録の投稿は、ウェブサイト、アプリのどちらからでもできますが、バードウォッチングをしながらリアルタイムで投稿するときは、スマホアプリ「eBirdモバイル」が便利です。位置情報や継続時間が自動的に記録されるので、自分で入力する必要がありません。一方、ウェブサイトでは、過去の観察結果や、写真・動画・音声等のメディアも投稿できるほか、世界中の野鳥情報の検索や、探鳥地の検索、eBirdを利用した科学研究の閲覧など、投稿以外の機能が充実しています。また、使用方の解説や、日本のユーザー向けのニュース等も掲載しています。リアルタイムでの投稿はアプリを、それ以外はウェブサイトのご利用をおすすめします。

	ウェブサイト	モバイルアプリ
投稿	●	●
位置情報の記録	▲	●
写真・音声の投稿	●	×
検索	●	▲
eBirdサイエンスの閲覧	●	×
データのダウンロード	●	×
日本のユーザー向けの情報 ニュースの閲覧	●	×

2 アプリ「eBirdモバイル」のインストール



- ①スマートフォンのストアからアプリをインストールする。
- ②「開く」をタップすると、サインイン画面になるので、作成したアカウントのユーザーネーム、パスワードでサインイン。
- ③設定確認画面になるので、種名表示を「種名」（または「両方」で、スペースがない場合の表示を「種名」）、表示する言語を「日本語（Japanese）」、距離「キロメートル」を選択し、「続ける」をタップ。
- ④「バードパックをインストールする」と表示され、「位置情報へのアクセスを許可するか」とメッセージが出るので、「許可」をタップし、「提案を見る」をタップ。日本（Japan）のバードパック（野鳥情報がまとめられたもの）が提案されるので、インストールする。これでアプリ「eBirdモバイル」の設定は完了です。

3 アプリ「eBirdモバイル」からの投稿方法



動画は
こちらから

歩きながらバードウォッチングした時は「移動」、一定の場所を動かなかった時は「定点」と表示されます

- ①行程の記録をオンにし、「チェックリストの開始」をタップし、バードウォッチングを開始する。

*WiFi環境でインストールすることをおすすめします。
*画面はアンドロイドの例です。iPhoneは多少異なることがあります。

- ②野鳥リストが表示されるので、見た鳥の個体数を入力する。「観察結果の追加、種の検索」に種名を入力して検索すると簡単です。

スズメと入力して検索。

種名の隣の+をタップすると、個体数が入ります。

種名（スズメ）をタップすると入力内容の確認と修正ができます。「完了」をタップすると②のリストに戻ります。

- ③バードウォッチングを終了したら右下の「停止」をタップ。

- ④「場所を選択する」をタップし、場所を選ぶ。

表示された場所を選ぶか新たな場所（緯度経度で表示）に名前をつける。

- ⑤「識別できた鳥全てのチェックリストを提出していますか？」と聞かれるので、自分が識別できた範囲で入力していれば「はい」を選択する（わからなかった鳥は除外して構いません）。
- ⑥見た鳥と個体数を確認し、「送信する」をタップ。「チェックリストが送信されました」と表示されれば、投稿完了です。

Q「バードパック」とは何ですか？

A バードパックは、その国/地域で見られる鳥類の情報がまとめられたものです。国内で使う場合は、日本のバードパックをインストールしてください。

Q 種名が日本語で表示されません。

A 「設定」の種名表示で、日本語を選択してください。アプリでは選択後「分類の更新」「更新情報のダウンロード」「更新情報を保存」というメッセージが順に表示され、完了すると選択した言語で種名が表示されます。

4 ウェブサイトからの投稿方法

スマートフォンをお持ちでない方や、フィールドノート等に記録した観察結果を後から投稿する場合は、ウェブサイトをご利用ください。



eBird

①eBirdのページの上にある「投稿する」をクリック。



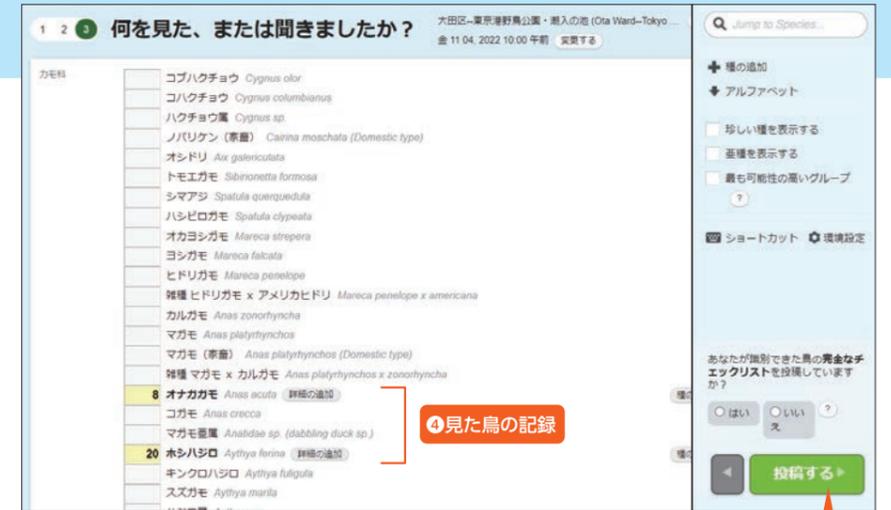
②場所の選択

バードウォッチングした場所を選択する。「地図上で探す」に市町村名をアルファベットで入力するか「日本の地図で探す」で、場所にズーム。



③日付とエフォート(努力量)

バードウォッチングに行った日付と時間、移動距離、バードウォッチングに費やした時間、バードウォッチングのタイプ(例:定点観察、移動)を入力。



④見た鳥の記録

表示される野鳥リスト*1に、見た鳥の個体数*2を入力。

*1 リストに載っていない場合は「種を追加する」ボタンで検索してください。
*2 推定でも構いません。数えられなかった場合は、[X]と入れてください。

⑤「識別できた鳥すべてのチェックリストを提出していますか?」と聞かれるので、自分が識別できた範囲で入力していれば「はい」を選択する(わからなかった鳥は除外して構いません)。

5 ウェブサイトでの情報検索方法

ウェブサイトから、見たい鳥や、その鳥が見られる場所、近くのバードウォッチングスポットなど、バードウォッチングに役立つさまざまな情報を検索することができます。

①興味がある鳥を検索する

「種の検索」の入力欄に種名を入力すると、その種の写真や音声、分布地の地図等を見ることができます。



②その鳥が見られる場所を探す

「検索」画面の「種別マップ」をクリックし、「種」の欄に種名を入力すると、これまでにその種が観察された場所の地図が表示されます。地図を拡大すると、観察されたポイントがわかります*。画面上部の「日付」の範囲を変えることで、直近の目撃情報を見ることができます。

*希少種や人の影響を受けやすい種(センシティブな種)については、位置情報が表示されません。



Q センシティブな種とは何ですか?

A eBirdのような誰でもアクセスできるデータは、違法に捕獲されたり取り引きされたりする種にリスクを与える可能性があります。そこで、eBirdでは、希少種や脅威を受けやすい種を「センシティブな種」として情報の公開を制限しています。「センシティブな種」を投稿した場合、位置情報など詳細は公開されません。くわしくは5ページQRコードへ。

クリック



③住んでいる地域で見られる鳥を調べる

「検索」画面の「地域の検索」に、都道府県名をアルファベットで入力すると、これまでに観察された種の一覧、写真、バードウォッチングスポット(ホットスポット)等が表示されます。



④バードウォッチングスポットを探す

「検索」画面の「ホットスポットを探す」をクリックし、画面上部の「場所」に都道府県や市町村名を入力すると、その地域のホットスポットが地図で表示されます。

ホットスポットの欄に名称(〇〇野鳥公園等)を入力すると、そこで観察された種の一覧を見ることができます。

投稿したチェックリストを確認、編集するには — マイeBird

「マイeBird」の「チェックリスト」から、投稿済みのチェックリストを一覧で見ることができます。編集・修正する場合は、該当するチェックリストを選択し「チェックリスト・ツール」をクリックしてください。写真、音声、動画などの視聴覚メディアも、こちらから追加できます。「マイeBird」では、これまでに投稿した観察結果の統計や、ライブラリ(これまでに見た種の一覧)を見ることができます。



投稿の際の注意 ● 珍鳥の扱いについて

その場所では珍しい鳥を観察したとき、eBirdで位置情報を公開することによって、その個体が攪乱を受けたり、多くのバードウォッチャーが押し寄せるなどの問題が起きることがあります。珍鳥情報は、●すぐに投稿せず、その個体がいなくなったあとで、チェックリストを編集して、種を追加する ●チェックリストを非表示にする ●明確な位置情報を示さない(例「〇〇国立公園内で見ました」のように広範囲にする)などの配慮をお願いします。チェックリストの編集や非表示設定は「チェックリストツール」から行うことができます。なお、希少種(センシティブな種)リストに掲載されている種は、位置情報を含む詳細が自動で非表示になります。

くわしくはこちら!



6 アプリ「Merlin」の使い方

- ①スマートフォンのストアからアプリをインストールする。
- ②「開く」をタップすると「メールアドレスを入力してください」と出るので、メールアドレスを入力。



iOS

Android



③位置情報へのアクセスを許可すると、日本のバードパックが表示されるので、インストール。
*インストール完了までに時間がかかることがあります。WiFi環境でインストールされることをおすすめします。



④「設定」で、鳥の種名の言語を英語から「日本語」に変更。日本語のダウンロードをタップ。



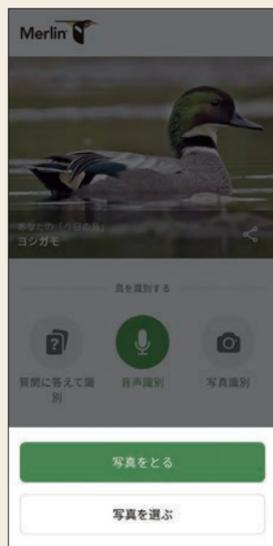
⑤保存先を、MerlinかeBirdか選ぶ。



⑥開始画面で「写真識別機能を取得する」をタップし、ダウンロードする。これでアプリ「Merlin」の設定は完了です。
*音声識別は現在は日本(アジア)で識別可能な種に限られており、うまく識別できないことがあります。

写真識別をしてみましょう

*画面はアンドロイドの例です。iPhoneは多少異なることがあります。



①スマートフォンで写真を撮るか、データを選択する。



②写真が枠いっぱいになるまで拡大する。



③場所と日付を確認し、「識別」をタップ。



④識別できたら「これが私の見つけた鳥です!」をタップ。
⑤選別された保存先(Merlin/eBird)に保存。

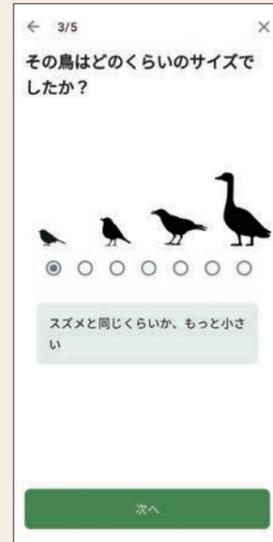
見た鳥を識別してみましょう



①「どこでその鳥を見ましたか?」で場所(その場であれば「現在地」)を選択。



②「いつその鳥を見ましたか?」で日付(その日の場合は「今日」)を選択。



③「その鳥はどのくらいのサイズでしたか?」で大きさを選択。



④「身体の色は主に何色でしたか?」で色を3色まで選択。



⑤見た鳥が何をしていたか、行動を選び、「識別」をタップ。



⑥表示された中に合致するものがあれば「これが私の見つけた鳥です!」をタップ。



⑦保存先をMerlinかeBirdか選んで、保存する。Merlinに保存した場合。



⑧保存先にeBirdを選ぶとeBirdモバイルに移動する。

MerlinとeBirdの違い

eBirdは誰でもアクセスできる、世界最大の野鳥観察データベースです。eBirdに投稿された野鳥観察情報は、世界中のバードウォッチャーの情報源となるほか、科学研究や保全活動に活用されます。Merlinは、eBirdの投稿データと連動して、AIが識別をサポートするアプリです。Merlinでも、識別した野鳥を記録してライフレリストを作ることができますが、個人的な記録となり、情報が公開されることはなく、科学研

究等にも利用されません。バードウォッチングが初めての方、野鳥の識別が難しいという方は、まずMerlinをお試しいただき、慣れてきたらeBirdへの投稿をおすすめします。

Merlinで識別した鳥を、eBirdに報告するには?

Merlinで野鳥を識別したら「eBirdに移動する」をタップすると、eBirdモバイルに移動します。「チェックリストの開始」をタップして、通常の手順で投稿してください。

Q カメラで撮影した鳥を識別したいのですが、Merlinはパソコンでも利用できますか?

A パソコンでは利用できません。カメラで撮影した鳥を識別する場合、データをスマートフォンに移したり(メールやLINE、クラウド等で)、プリントアウトしたものを撮影するなどしてお試しください。

Q 識別結果に、候補となる鳥がまったく出てきません。

A 日本のバードパックがインストールされているかどうか、確認してください。



Merlinの使い方動画はこちら